



# 輝き人生

このコーナーではきらりと輝きながら活躍する市民を紹介します。

## 夢は東京オリンピック

しも 下 史典さん (能褒野町)



中学生の時から使っている大切な靴。一昨年の全国高校駅伝で区間賞を獲得。

昨年12月の「男子第65回全国高等学校駅伝競走大会」で、各校のエースが集う花の1区に出場し、一昨年の6区に続いて見事区間賞を獲得した伊賀白鳳高等学校3年生の下史典さん。主将として、走りチームを引っ張るだけでなく、声掛けやフレンドリーな雰囲気づくりで、チームを一つにまとめてきました。卒業後、駒澤大学の陸上部に進む下さんは、世界を目指し走り続けます。

### 一始めたきっかけは？

「父や兄と野球やサッカーをするなど、運動が大好きでした。小学1年生の時、マラソン大会で優勝してから陸上を始め、小学4年生からJAC亀山、中学校では陸上部で活動していました。」

一駅伝の強豪校、伊賀白鳳高校へ。

「もっと速くなりたい、強い選手と戦いたい」と思い、先輩からのアドバイスが決め手となり決意しました。進学する時“全国大会に出場して活躍する”と両親と約束し、結果が出なくて苦しい時期も、くじけてはいけなと自分に言い聞かせて練習を続けました。先輩や同級生のライバルの存在も大きく、刺激を受けたり励ましあったりして成長することができたと思います。主将になって責任感や自覚が芽生え、それが自分の走りや成績にもいい方向につながっていききました。」

一最後の全国高校駅伝、見事な走りでした。

「1年間の個人の目標は“1区で

区間賞をとり、チームに最高の勢いをつける”こと。スタートラインに並んだ時、その目標を実現できるかもしれない状況が目の前にあり、ワクワクする気持ちでした。ラスト1kmでスパートをかけ、思い描いていたレース展開になり、今まで続けてきたことが間違っていなかったことを走りて実現でき、大きな自信となりました。」

### 一これからは？

「個人で走るよりも、絆の深さやチームへの思いが一つになる駅伝が大好きで、大学でも、出雲・全日本・箱根の3大駅伝を走りたい。長い距離を粘って走るのが自分の持ち味。世界を目指してフルマラソンにも挑戦し、2020年の東京オリンピックに出場したいですね。」

毎月21日は  
「市民交流の日」  
きらめき亀山21

## 市民活動



コーナー

### 楽しい交流会

12月のきらめき亀山21は、クリスマス交流会を開催し、参加者が日頃それぞれの活動をしながら感じたことや近況報告などを発表し、楽しく意見交換をしました。

#### 主な意見

- ▷私は、亀山を題材にした唄の作詞をしたことがあるが、今度は市内のある名所について作詞をしてほしいと依頼があった。できる限り期待に応えられるよう、これからも意欲的に活動していきたい。
- ▷県が市民活動団体を育成・支援する「美し国おこし・三重」事業が今年度で終了する。せっかくパートナー登録をしたので、これからも幅広く活動していくためにも、事業が終わってからもフォローがあると良い。
- ▷甲冑を着てイベントで練り歩く機会が増え、参加者には楽しんでもらっている。これからも皆さんに楽しんでいただけるような活動をしていきたい。

参加者からさまざまな意見が挙げられ、これからの活動について考える有意義な時間となりました。

2月のきらめき亀山21は、『楽しく語ろう「終末談議」』と題して、一生をどう終えるか、どう終えたいかについて話し合います。参加者が楽しく情報交換をし、今後のそれぞれの活動のヒントとしてもらえればと考えます。

きらめき亀山21は、人と人との交流の場です。申し込みは不要で誰でも参加できますので、ぜひお越しください。

#### 2月の市民交流の日

- テーマ 楽しく語ろう「終末談議」
- とき 2月21日(土) 午後7時30分～9時30分
- ところ 市民協働センター「みらい」1階多目的ホール
- 参加費 無料
- 問合せ 市民文化部 文化振興局 共生社会推進室 ☎84-5066

URL <http://shimin-kyodo.sakura.ne.jp/kirakame21/>